静岡新聞社 第34回「読者と報道委員会」

静岡新聞社の「読者と報道委員会」は9日、第34回会合を静岡市駿河区で開いた。議題は熱海市伊豆山の大规模土石流に関する報道。聖隷福祉事業団理事長常務執行役員鎌田裕子委員、弁護士の近藤浩志委員、認定NPO法人エコエデュ理事長の山本由加委員の3氏が本社側と意見交換した。

(進行は萩田雅宏編集局長)

テーマ

熱海土石流

初期報道と情報公開

熱海市伊豆山の土石流は県内では近年見られない大災害となり、発生当初から全県から記者を派遣し、総力戦で取材に臨み、「熱海」と表記することで熱海市全体への風評被害が生じるとの懸念もありました。混乱の中、初期報道について読者が求める情報を分けていくという考えが、ご意見をありがとうございます。

鎌田委員 事実の報道は分りやすく伝えてもらいたい。法人として、行政からの要請で、DMAT(災害医療派遣チーム)などを派遣した。被災地の正しい情報は、読者としても、法人としても早くほしい。静岡新聞は地域に根差したリアルな情報に的確に対応して、また、近距離の画像はかなりリアルに現場の状況が伝わった。日本は被災地を盛り上げていくという風土

鎌田 裕子 委員
かまた・ゆうこ 聖隷三方原病院などで看護師として勤務後、聖隷福祉事業団法人本部で人材開発部長などを歴任。2017年1月から同事業団常務執行役員。19年6月から理事。浜松医科大学大学院修士課程修了。掛川市出身、浜松市在住。

近藤 浩志 委員
こんどう・ひろし 1996年弁護士登録。2017年静岡県弁護士会会長。日本司法支援センター法テラス沼津支部長、沼津人権擁護委員協議会会長。明治大学法学部卒。東伊豆町出身、沼津市在住。

山本 由加 委員
やまもと・ゆか 認定NPO法人「しずおか環境教育研究会・エコエデュ」理事長。岐阜大で森林学を学び農林業職(農職員)に。途中退職後、農林業系ライター等を経て2020年6月から現職。静岡清水区出身、在住。

がある。熱海が素晴らしい場所であることばかりが報じている。地名を出した報道により、逆に応援したいという気持ちになった。
近藤委員 黒い水のかたまりが上流から流れ下り、建物を押し流す映像の衝撃が今も頭から離れない。伊豆半島は平地が少ない。山と海に囲まれていて、地震に押しつぶされたいというのがある。なまは伊豆を起すというのがある。なまは伊豆を起すというのがある。なまは伊豆を起すというのがある。

「前後」比較の写真有用
不明者公表 意味明確に
複雑さ 逃げない姿勢で
近藤委員
鎌田委員
山本委員

面については今後、もう少し踏み込んでほしい。過去にも災害をどう呼ぶか課題になった。初期報道について(熱海と冠すること)は、致し方ないのではないかと。時間がたつと課題が収束したり、拡散したりする。苦しんでいる人は確かになる。苦しんでいる人は確かになる。苦しんでいる人は確かになる。

公開されたくない人への配慮を忘れてはいけない。
節目には社説を掲載してきまして、当初は豪雨災害と捉えられていました。違法盛り土の造成など人為的な要因が出てきました。論議はそこで起きたことが何を意味するのかを書き添えますが、焦点を絞ります。時系列で追う形になります。社説への意見はありますか。

編集局から
取材で事実を集め、それを解き明かしたいという思いで取材に臨んでいる。
昨年12月からは長期連載「残土の間」も開始した。委員からも指摘があったように、人災という側面を踏まえた上で改めて伊豆山に何が起きていたのかを検証し直していく。危険な盛り土は日本の経済成長に伴って全国にうずたかく積み重ねられてきた影の部分だ。二度と同じような悲劇が繰り返されないように、委員からいただいた多くの指摘を今後の取材に生かしていきたい。

今後の報道への要望

盛り土崩落の原因や責任の追及、検証について腰を据えて報道したいと考えています。解明してほしい点をご意見をお願いします。

近藤委員 まず、早く刑事告訴したい。警察も素早く受理した。多くの人命が失われた。悲しみにあふれた遺族が刑事告訴に時間を割くことは頭が下がる。進成業者あるいは新しい所有者に対しては裁判や捜査の進展を待つしかない。

山本委員 地域内外の支援に光を
山本委員 小さな声を見逃さずに

多角的な行政検証必要
山本委員 多角的な行政検証必要

近藤委員 熱海市の各関係市長が被災者に伊豆山の復興計画を説明した際、会場から「(まだ)復興を語る状況にない」と批判の声があったことを印象的に覚えている。寄り添うというのには、被災者の気持ちに配慮することだと思える。被災者がどういった希望を持ち、どんな地域にしたいのか、その人たちが決める話ではない。取材でも被災者の話を徹底して聞いて、その人たちの思いに沿った記事を書いてほしい。

山本委員 多角的な行政検証必要
山本委員 小さな声を見逃さずに

山本委員 多角的な行政検証必要
山本委員 小さな声を見逃さずに

山本委員 多角的な行政検証必要
山本委員 小さな声を見逃さずに

山本委員 多角的な行政検証必要
山本委員 小さな声を見逃さずに

山本委員 多角的な行政検証必要
山本委員 小さな声を見逃さずに